

図書館だより



京都市立九条中学校

図書館

令和7年度 第5号




あたらしく

新しくなりました！

がっきゅうぶんこ

学級文庫

 教室のすみっこにある「学級文庫」。みな

さんは、どれくらい使っていますか？1学期との

変化に気づきましたか？

本校は今まで学校司書が選書した学級文庫だ

ったのですが、2学期より900番台の**文字や絵本**に




学級文庫に入れる本を選ぶ教養委員さん


迷いながらも、熱心で楽しそうでした。

ついては、すべて**教養委員さん**にお任せすることにしまし

た。「**クラス**の人の顔を思い浮かべながら選んでね」という言葉を受けて、本をさがしてくれ

ました。ほかの分類の本も刷新し、文学だけに偏らないようにバランスを取っています。

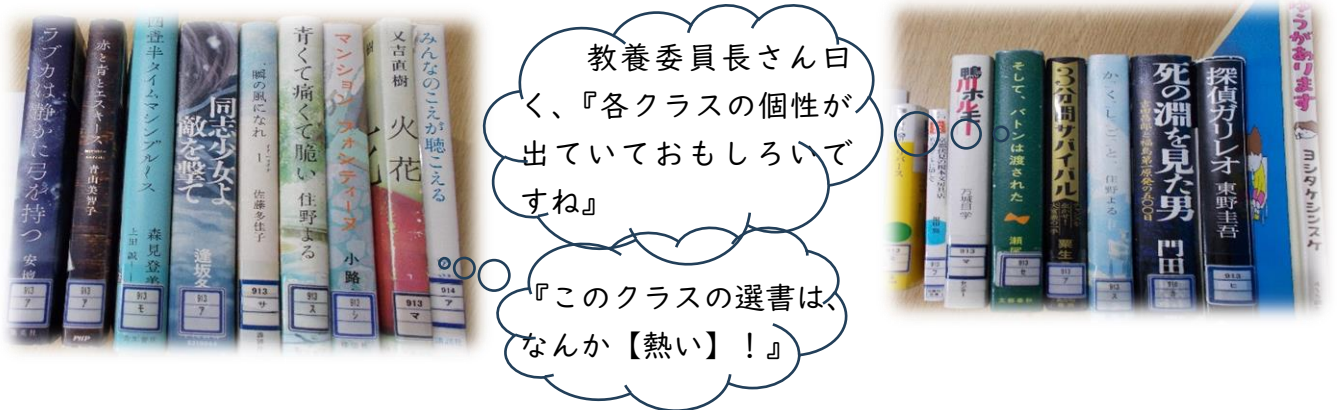
 本は、ただ読むだけではなく、心を育てる道具でもあります。朝読書の時間に静かにページをめくると、気持ちが落ち着いたり新しい考えがひらめいたりすることもありますよね。

 でも、本はみんなのもの。だからこそ、大切に扱うことがとても大事です。ページを折ったり、書き込みをしたりせず、読んだら元の場所にきちんと返しましょう。全冊そろっていることで、次に読む人も気持ちよく使えます。

^{がっきゅうぶんこ}学級文庫は、みんなで^{そだてて}育てていく「^{ちいさなとしょかん}小さな図書館」。本を通して、^{ほん}本と^{とおして}おして、^{ともだち}友達と^{かんそう}感想を

^{はなしあ}話したり、^{あたらしいせかい}新しい世界を知ったりすることができます。これからの^{あさどくしょ}朝読書、ちょっとだけ

いつもと違う本を手にとってみましょう。



せんしょかい」
『選書会』で選ばれた本が仲間入り！



^{あつさ}暑さの^{きびしい}厳しい日でしたが、^{かいしじかん}開始時間の^{まえ}前から^{いりぐちふきん}入口付近に並んで待ってくれる人がた

くさん！^{がっきまつ}学期末の^{こんだんきかんちゅう}懇談期間中にもかかわらず、^{めい}83名の人が^{ひと}参加してくれました。

^{こじん}個人の^{さんか}参加に加えて、^{くわえて}部活動ごとに^{ぐるーぷ}グループ

で本を選ぶ^{えらぶすがた}姿もありました。また、^{きょうよういん}教養委員さんが^{うけつけ}受付や^{あんない}案内をする様子をご^{ようす}覧になっ^{ごらん}ておられた^{しょてん}書店さんからは『^{すご}すごく^{しっか}しっかりとやっ^ててくれはりますね！』とお^{おほめ}褒めの言葉も^{ことば}頂戴^{ちやうだい}しました。



選んだ本を書店さんに渡します。



残念ながら町の書店さんもだんだんと減り、紙の本を

買い求める機会も少なくなっています。けれども、活字

から学ぶこと、感じること、考えること、すべて大切な

事柄。柔軟で高い感受性と可能性に満ちた中学生にと

ってはなおのこと、活字は欠かせない存在です。

入荷した本は図書館の入口付近に排架してあります。あなたの選んだ本があるかもしれま

せん。ぜひ、探して手に取ってみてください。

購入希望 第1位の本（同率で2作品）

★『余命一年と宣告された僕が、余命半年の君と出会った話』 森田葵著 ポプラ社

★小説『ブルーロック EPISODE風2』 もえぎ桃著 講談社

いずれも購入しました 😊



すでに多くの本を貸し出しています。次の

人のためにも、早めに返却してくださいね。

